

アニメ『SHIROBAKO』×武蔵野市／

デザインマンホール in 武蔵境

市内が舞台のアニメ作品『SHIROBAKO』がアニメ放映開始から10周年を迎えます。特に武蔵境地区は作品内にたびたび登場し、ファンに聖地として知られています。

10月上旬、“聖地”武蔵境に、『SHIROBAKO』とコラボレーションしたデザインマンホールが登場します。今後、デザインマンホールを巡る回遊イベントやマンホールカードの制作も検討していますので、ぜひご期待ください。

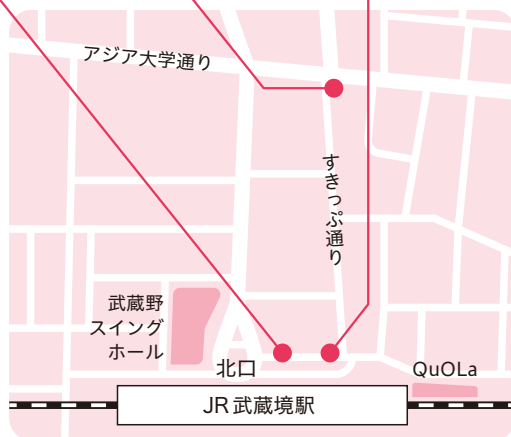


©「SHIROBAKO」製作委員会

©2020劇場版『SHIROBAKO』製作委員会

『SHIROBAKO』って？

平成26年10月に放送開始した人気テレビアニメ作品。アニメーション業界を舞台に、夢を追う若者たちの姿を描く群像劇で、武蔵野市内がたびたび作品内に登場する。タイトルの「SHIROBAKO」は、映像業界で使われる白い箱に入ったビデオテープのことで、ひとつの作品が完成した際に制作者が最初に手にすることのできる成果物。



デザインマンホールは吉祥寺にも！

武蔵境より一足早く、昨年10月に吉祥寺駅北口エリアにデザインマンホールが7カ所設置され、現在はマンホールカードも配布しています。吉祥寺のデザインマンホールはどれも吉祥寺駅北口から徒歩圏内。『シティーハンター』や『北斗の拳』など、それぞれ人気漫画のキャラクターがデザインされています。武蔵境地区と併せて、ぜひお越しください。



詳しくはこちら

『シティーハンター』
©北条司／コアミックス 1985

季刊むさしの第143号（2023年秋号）では、マップや漫画原作者のコメントなども交えて吉祥寺のデザインマンホールを特集しました。